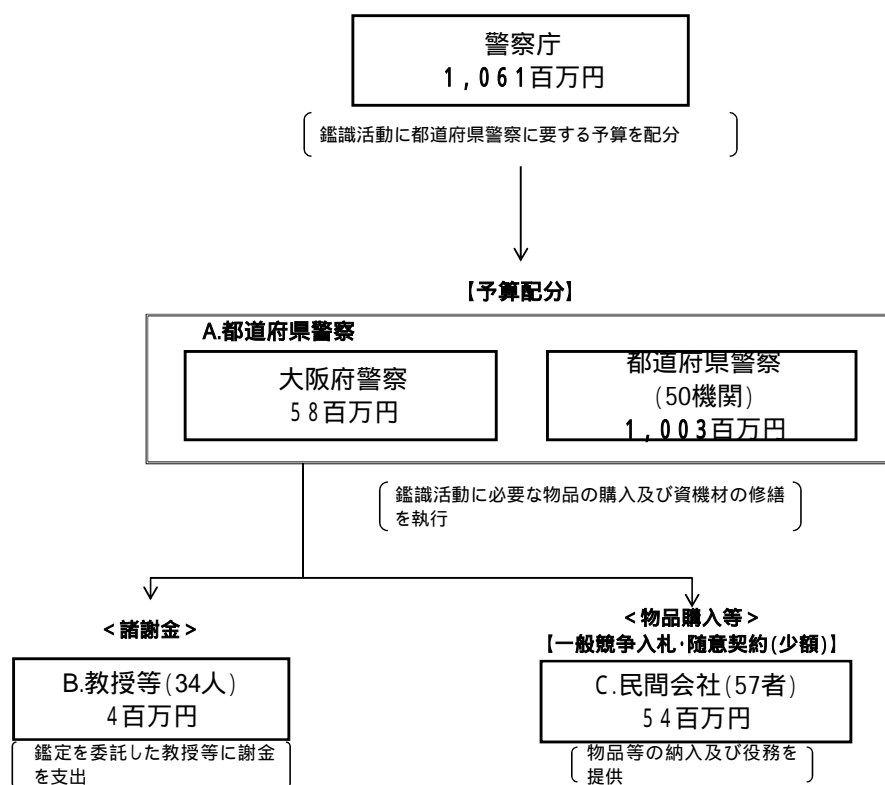


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	鑑識に必要な物品購入等	担当部局庁	刑事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	犯罪鑑識官	犯罪鑑識官 上野 正史				
会計区分	一般会計	政策・施策名	別添参照					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国的に一定水準の科学捜査力を確保するため、鑑定・鑑識業務に必要な装備資機材の整備を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の活用が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。このため、鑑識・鑑定業務に支障を来さないよう、科学捜査力を強化する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度 1,026	23年度 853	24年度 1,164	25年度 2,043	26年度要求 1,883	
		補正予算	0	0	3,251	0		
		繰越し等	47	0	3,235	3,235		
		計	1,073	853	1,180	5,248	1,883	
	執行額	1,046	853	1,061				
	執行率(%)	97%	100%	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年	23年	24年	目標値 (年度)
	(成果目標) 的確な鑑識・鑑定業務の実施による科学捜査 (参考指標) 重要犯罪の検挙件数		成果実績	件	9,291	8,969	9,487	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年	23年	24年	25年度活動見込
	被疑者指紋登録件数(再犯を除く)		活動実績 (当初見込み)	件	227,266	213,431 (-)	194,311 (-)	(-)
単位当たりコスト	1,061,304(千円/年)		算出根拠	年間執行額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	19	19	要求額のうち、「新しい日本のための優先課題推進枠」1,026百万円				
	物品購入等	2,024	1,864					
計	2,043	1,883						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			従来にも増して客観的証拠の活用が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			本経費については、都道府県警察に予算配分し、鑑識活動に必要な消耗品等を購入しているが、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先等については把握している。 また、鑑識活動に必要な経費の支出に際しては、一般競争入札を実施するとともに、過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しなど、予算の適正な執行に努めている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			本経費は、対象事件の発生の多寡等によって左右されるものであるが、指紋等の客観的証拠を積極的に活用し、被疑者の迅速な特定や余罪の割出しに効果を発揮している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 都道府県警察に予算配分している消耗品等については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。					
	2 見直しの余地 本経費については、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、客観的証拠の活用のため引き続き実施する必要がある。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	おおむね具体的で十分な内容と認められる。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	特になし。					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初17-3	平成23年	66	平成24年	51

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大阪府警察			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	鑑識活動に必要な物品購入等	58			
計		58	計		0
B.教授等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	鑑定に要する経費	4			
計		4	計		0
C.中倉産業(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	指紋用転写紙 ほかの購入	11			
計		11	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府警察	予算配賦	58		
2	警視庁	予算配賦	49		
3	福岡県警察	予算配賦	44		
4	兵庫県警察	予算配賦	39		
5	神奈川県警察	予算配賦	33		
6	北海道警察	予算配賦	30		
7	埼玉県警察	予算配賦	29		
8	千葉県警察	予算配賦	29		
9	愛知県警察	予算配賦	25		
10	静岡県警察	予算配賦	23		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	教授等	鑑定に必要な経費(延べ34人)	4		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中倉産業(株)		11		
(内訳)		指紋用転写紙 ほかの購入	5	1	
		足跡用転写紙 ほかの購入	3	1	
2	(株)早川衡器		9		
(内訳)		足カバー ほかの購入	3	4	
		キャピラリーカラム ほかの購入	2	4	
		インサート ほかの購入	2	4	
3	八洲薬品(株)		6		
(内訳)		h-アンフェタミンクラスアッセイ ほかの購入	2	4	
		h-アンフェタミンクラスアッセイ ほかの購入	1	3	
		h-アンフェタミンクラスアッセイ ほかの購入	1	3	
		h-MAM2201 N-(2-fluoropentyl) isomer ほかの購入	1	随意契約	
4	(株)ナニワ商会		6		
(内訳)		カラーペーパー ほかの購入	3	1	
		補充カートリッジ ほかの購入	2	1	
5	(株)科学装備研究所		5		
(内訳)		指紋用転写紙 ほかの購入	1	随意契約	
		シリコンラバー ほかの購入	1	随意契約	
6	(株)山口商会		1		
(内訳)		手袋 ほかの購入	1	3	
7	(株)エポリードサービス	高周波誘導結合型プラズマ質量分析装置修理等	1	随意契約	
8	(株)ネリキガス	液体窒素 ほかの購入等	1	随意契約	
9	リンテック(株)	足跡用転写紙 ほかの購入等	1	随意契約	
10	日本電気(株)	指掌紋自動押なつ装置修理等	1	随意契約	

政策・施策名

